

ひとりの子どもが私の膝の上に坐り
きて、泣きわめいた。だんだん聞いて
みると、「黄色いしっぽのきつね」と
言う。その子はふさふさしたしっぽの黄色い
きつねのぬいぐるみを好んで手に持
つていたことを私は思い出した。私
はその子と一緒に歩きまわって、こ
ちらの隅、あちらの隅を探す。その
子どもも、手を出して、ひきだしを
あけたり、箱をのけて探してはじ
めた。

どうしてもこれではいけないや
だといつて泣きわめく子どもを前
にすると、おとなは憤慨したり戸惑
ったりする。だが考えてみると、お
とな自身も同じようなことをして
いるのではないかと思う。心の中
に理想があって、これにびつたり
と合うものができ上るまでは、満
足できず、いろいろに試みたり、や
り直したりする。他人から見れば、
その必要はないと思われる。その
人自身にとっては、わずかな色合
いの差、肌ざわりの違いなど

が気になるのであって、心の中
に描いたそれではいけないのである。
感覚の鋭敏さや理想のもち方は、
人によって異なるから一概に言
えないけれども、このことは、人
の向上心や、未来に対する態度
と関係があると思う。これでは
いけないやだといふ子どもの心
には、実現したいと思うものが
見え始めている。

おとなは、それを子どものため
に見つけてやらなくてもよい。自
分の心の像に合うものを見つ
けるのは子ども自身である。そ
のときには遂にそれが見つから
なくて、泣きわめいたまま終
つてもよい。自分の心の理想に
ゆきあたるには、時間と努力と
チャンスとを要することを、子
どもは成長の過程で何度も体
験してゆくのである。

私は別の用事で呼ばれていたが、
この子と一緒に床をはいまわ
つて探してよかつたと思つた。
その時にそれは見つけられな
かつたけれども。(津守真)

幼児の教育 第七十七卷第七号

七月号 ◎ 定価二二〇円

昭和五十三年六月二十五日 印刷
昭和五十三年七月一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売
所 フレーベル館にお願いいたします